

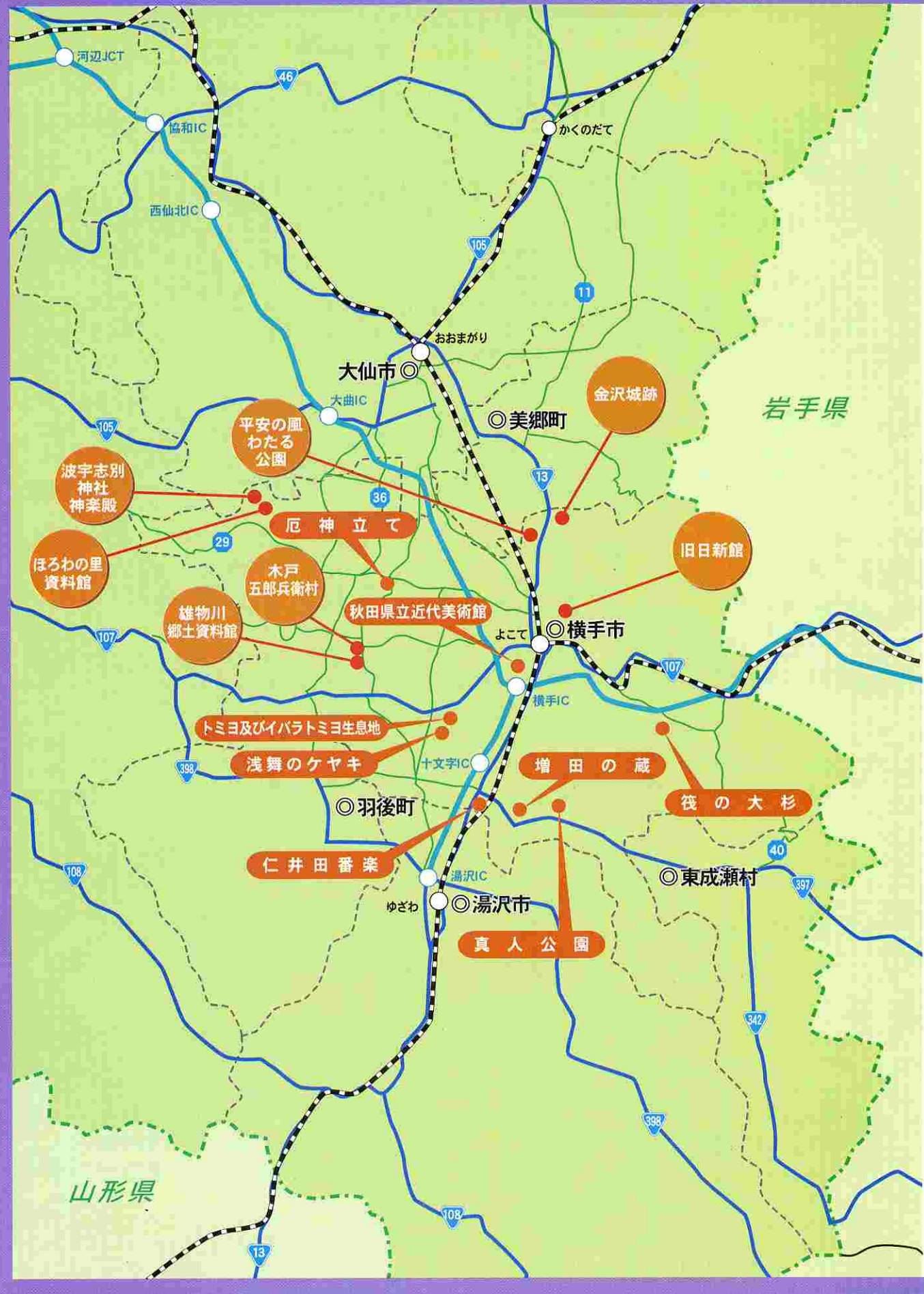


# あきたはまるごと博物館 文化財探訪ツアー

## 平鹿田園の里コース

波宇志別神社神楽殿  
ほろわの里資料館  
雄物川郷土資料館  
民家苑木戸五郎兵衛村  
旧日新館  
平安の風わたる公園  
金沢城跡





岩手県

山形県

大仙市

美郷町

金沢城跡

旧日新館

波宇志別  
神社  
神楽殿

平安の風  
わたる  
公園

厄神立

ほろわの里  
資料館

木戸  
五郎兵衛村

秋田県立近代美術館

雄物川  
郷土資料館

横手市

トミヨ及びイバラトミヨ生息地

浅舞のケヤキ

増田の蔵

筏の大杉

羽後町

仁井田番楽

東成瀬村

湯沢市

真人公園

河辺JCT

協和IC

西仙北IC

かくのだて

おおまがり

大曲IC

よこて

横手IC

十文字IC

湯沢IC

ゆざわ

108

13

105

29

107

398

108

46

105

11

36

13

107

40

397

398

342

# 平鹿田園の里 コース

波宇志別神社  
神楽殿

ほろわの里  
資料館

雄物川  
郷土資料館  
木戸五郎兵衛村

旧日新館

平安の風わたる  
公園

金沢城跡



ほうしわけじんじやがくらでん

## 波宇志別神社神楽殿

[国重要文化財]

波宇志別神社の由緒は古く、延喜式(醍醐天皇の時代にまとめられた古代の法令)にある出羽国九座のうちの一社です。神楽殿は、東北地方では数少ない室町時代の建立とされ、前後に庇を付けた両流造の様式です。太い木割と簡素な意匠が力強さを感じさせる建造物で、平成2年から実施された解体修理によって、往時の姿が蘇りました。



## ほろわの里資料館

毎年11月7日の夕方から翌朝にかけて行われる国重要無形民俗文化財霜月神楽や波宇志別神社神楽殿の修理関係の資料が展示されています。中でも県の有形文化財に指定された神輿は解体修理の際に神楽殿の天井裏から発見されたもので、中央の工芸技術の広がり伝える工芸品です。



## 雄物川郷土資料館

旧雄物川町の歴史や文化財に関する資料を展示しています。特に沼の柵関連の資料や横手と本荘を結んだ横荘鉄道関連の資料が充実しています。



## 民家苑木戸五郎兵衛村

雄物川郷土資料館に隣接する木戸五郎兵衛村には、江戸から明治時代に建てられた4棟の古民家が移築されており、当時の生活を感じることができます。見学はもちろん、宴会や研修のための施設としても利用できます。

[県指定有形文化財]

## 旧日新館

旧制横手中学(現・横手高校)に赴任した外国人英語教師の住居として明治35(1902)年に建てられたもので、明治期の木造洋風住宅としては県内に残る唯一のものです。内部には当時使われていたタイプライターなどが展示されています。



## 平安の風わたる公園

「雁行の乱れ」の伝説で有名な後三年の役の古戦場・西沼のほりにある歴史公園です。武将のブロンズ像や系図があり、後三年の役を中心とした古代東北の歴史を学ぶことができます。



## 金沢城跡

後三年の役で清原氏が籠城した金沢城跡といわれていますが、はっきりしていません。発掘調査では掘立柱建物跡や木製品などが出土しており、今後の調査が待たれるところです。



# 横手市のおもな文化財

## 秋田県立近代美術館

旧横手市



平福穂庵筆乳虎(県指定有形文化財)

秋田自動車道横手ICにほど近い秋田ふるさと村内にあります。秋田蘭画や近代以降の美術作品を収集・展示しています。

## 浅舞のケヤキ

[県指定天然記念物]

旧平鹿町



浅舞感恩講前にあり、推定樹齢500年ともいわれるケヤキです。「浅舞の榎の木」として親しまれています。

## トミヨ及びイバラトミヨ生息地

[県指定天然記念物]

旧平鹿町



琵琶沼、天龍沼、荒小屋沼は、地元で「ハリザッコ」として親しまれているトミヨとイバラトミヨが混生する貴重な生息地として、県の天然記念物に指定されています。

## 仁井田番楽

[県指定無形民俗文化財]

旧十文字町



毎年9月7日に新山神社に奉納される芸能で、300年以上前から受け継がれているといわれています。

## 増田の蔵

旧増田町



登録有形文化財の日の丸醸造や勇駒酒造、佐藤又六家などの多くの蔵によって、味わいのある街並みが形成されています。

## 真人公園

旧増田町



前九年の役で活躍した清原真人武則の居城跡といわれる真人山の麓に広がる公園です。千秋公園なども手がけた長岡安平の設計で、桜の名所としても知られています。

## 筏の大杉

[県指定天然記念物]

旧山内村



推定樹齢800年、樹高43mのスギの巨木で、菅江真澄の『雪の出羽路』にも「神木の両双の大杉」として紹介されています。

## 厄神立て

[横手市指定文化財]

旧大雄村



無病息災を願って、鹿嶋人形と呼ばれる重さ100kgにもなるわら人形を背負って、藤巻地区の集落内を練り歩く行事です。